



このコの字の空間が、
ママを自由にする。

奥さま熱望のコの字のキッチンを使い勝手良好。奥には、在宅ワークである職員の仕事部屋が広がる。短い動線で家事と仕事を両立



この家に合わせて買ったという、手挽きのコーヒーミル。娘と一緒にスローな時間を楽しむのも、至福の時

お宅
訪問

knock 02



白いシンプルな外壁は塗装仕上げ。[SORAデザイン]が誇る職人の技が光っている。広いウッドデッキは、春秋は「第2のリビング」にもなる。バーベキューをするのが楽しみだそう

鑑賞。HPの施工例を見せながら、ホームシアターも素敵に作れる魅力的な会社であることを熱弁。そして見事、翌週にオープンハウスへ行くことに！そこで「家のコンセプトがはっきりしていて、規格がない自由さに惚れた」とご主人。0から施主に合わせたオーダーメイド、一貫して同じ職人を使う質へのこだわり、摩擦減震装置UFO-Eの初期装備……。話せば話すほど、デザイン以上の魅力が尽きない。奥さまの夢だった「SORAデザイン」での家づくりが進み始めた。

「SORAデザイン」がつくった
菊池郡在住 / Mさんの住まい

暮らし方を縛らない 自由自在に変わる家

阿蘇外輪山の風車が見える、のどかな景色に恵まれた白い家。ここは、奥さまの子どもからの夢が叶った場所。家族の自然体な暮らしが、息づいている。

念願の家づくりは
ずっと憧れていた会社で

「家賃を払い続けるなら」とご主人が家づくりを決意したとき、奥さまの胸は沸き立った。実は子どもの頃からマイホームが夢で、家の情報収集が趣味だった奥さま。「SORAデザイン」で理想の家を建てたいと長年思っていたのだ。「まずは夫にプレゼンを！」と、奥さまが目をつけたのは、ご主人の趣味・映画



近くでお顔が見えるから
ごはんも楽しいね。

キッチンの天板はすべて木で統一し、温かな木の空間に。対面で食事の準備ができ、家事や育児で忙しいママの助けになる造り



リビング横の小上がりの畳から階段が伸びる、独特の空間設計。階段に座ったり畳に寝転がったり、田園の景色を楽しんだり、いろいろな居場所になる

日々のささやかな風景も
いつかの思い出になる。

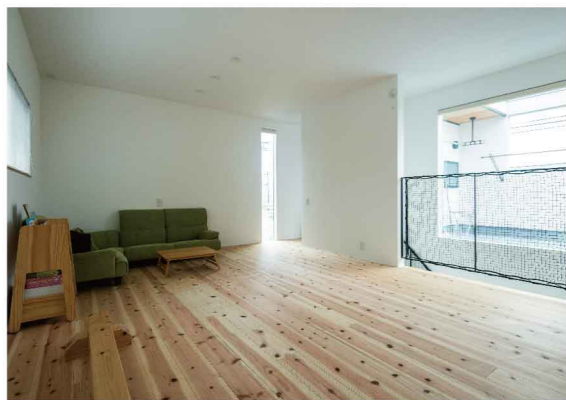
「メーカーと施主」ではなく
プロジェクトチームのように

「ゆったり空間の中で、子どもが思いっきり走り回れる家」を夢見ていた奥さま。その通りに2歳の娘さんはフロアを駆け回り、あどけないおしゃべりが弾ける。住みやすさも動線も理想以上。それも当然だと奥さま。「打ち合わせに秘密がある。まず聞かれたのは間取りの希望ではなく、仕事や生活、趣味、好きなこと」。1枚のボードにまとめ、そ

れを元に家の形を提案してくれ
る。「こう暮らしたい」が詰まったプランに感激。「発で決まりました」とご主人も振り返る。

自宅で翻訳の仕事をする奥さまが家事と両立しやすいよう、コの字のキッチン奥に広い書斎。その近くにはご主人の書斎も。ご主人熱望の120インチのホームシアターもリビングに備えた。そして、阿蘇一望の景色を堪能できる大窓に、広いウッドデッキ。一つひとつ、ライフスタイルを形に
していく。「キッチンや靴箱は、

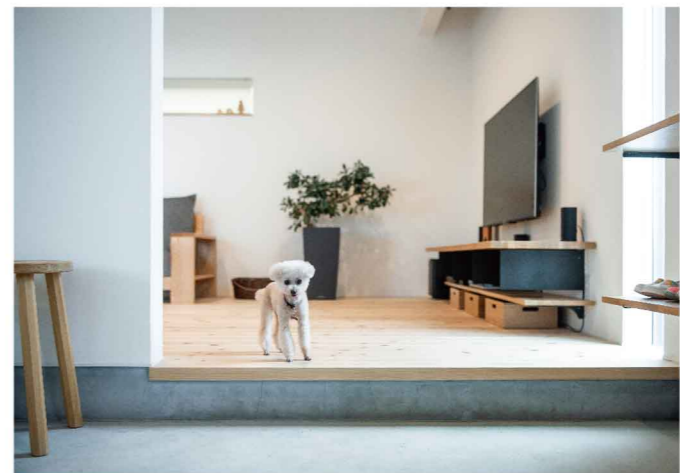
「見える」収納を提案いただきま
した。最初は心配でしたが、とても使いやすい。コンセントの位置も現場で指さし確認しながら決めてくれたりして……。希望通りに造るだけでなく、時には「もっと住みよい形」を提案してくれ
た」とご主人。住宅会社と客というよりも、1つのチームとして家づくりに取り組んだ感覚だという。「田崎さんと完成後も交流が続いていて、嬉しいです。家づくりを通して心強い仲間ができた気
持ちです」。



2階の子ども部屋は、まだあえて「未完成」。今は子どものおもちゃを置いたプレイルームに。子どもの成長や人数に応じて柔軟に変えられる空間



吹き抜けをリビング階段が通っており、家を開放的な雰囲気。高い位置にある大窓から自然光も降り注ぐ



バリアフリーなフロアは、10歳になる愛犬・キャンディちゃんも通ごしやすい。モルタルの玄関には、あえて見せるシュークローゼットを設け、開放的な暮らしに

キッチン下には大容量の大きな空洞。いろんなアイデアで収納を工夫するのが、奥さまの楽しみだとか

この場所が、私を
私らしくさせてくれる。

COMPANY DATA

株式会社 SORAデザイン
熊本県南区江越1-6-5

連絡先
TEL 096-288-9801

HPアドレス
www.soradesign.biz

詳しい情報は
149ページに掲載



夜、我が家は、
秘密の映画館になるのです。

ご主人念願のホームシアター。スクリーンはなんと壁いっぱいの120インチ！ 夜、真っ暗な中で上映すれば、その没入感たるや現実を忘れそう

右/ご主人の趣味の映画DVDやフィギュアが飾られた書斎。LDKとつながってはいるが、奥さまの書斎と壁で仕切られており、その絶妙な距離感が居心地いい



いるだけでワクワクできる
余白でいっぱい住まい

M邸は玄関を入るとすぐにLDKが広がる。リビング階段から2階に上ると、子どもの遊び場になっているロフトのような開放空間。寝室以外は壁やドアが少ないシンプルな空間が広がる。「私が模様替えが大好きなので、使い方が縛られない場所を多く作ってもらったんです」と奥さま。キッチン下は収納方法を自由に変えられるよう空間だけを確保。小上がりの畳空間や、自由に仕切れる2階のフロア、広いウッドデッキなど、創造力次第で自由に使える「余白」がいっぱい。「家で何しよう！って、毎日ワクワクできます」と笑顔の奥さま。住み始めたその日から、もう何十年も住んでいるかのように家族になじむこの家。無理なく仕事と家事を両立させる奥さま。夜には大迫力のシアターと音響で映画を楽しむご主人。いろんな場所でのびのび遊ぶ娘さん…。家族それぞれが、好きな場所で、自由に過ごせる。ささやかでも最上の贅沢を、この家は持っている。